



《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

あけましておめでとうございます～今年も魅力ある学校づくりに努めます～



保護者の皆様、地域の皆様、そして児童の皆さん、少し遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年もコロナ禍の中、諸活動には一定の制限をかけざるを得ない状況が続きましたが、なかなか収束が見込めない現状に鑑み、今年もお願い事が多くなりそうです。これまでも、保護者や地域の皆様には、多大なるご理解・ご協力をいただき、感謝しているところですが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

私は、「相和愛」がますます大きくなっています。現状に満足することなく、魅力ある学校、子供たちが明日も来なくなる学校へと日々改革していきたいと思います。学校の様子をこれまで以上に積極的に配信していけるよう努めます。

書き初めをとおして決意新たに… ～校内書き初め会～【令和5年1月11日】

恒例の校内書き初め会が行われました。「一年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、新年早々に、思いを込めて筆を走らせることはとても意味があることだと思います。

各学年、教科書に沿って書き表す字は決まっていますが、6年生は例年どおり、今年の決意を表した四字熟語を書いています。これがなかなか面白く、個性が出ていてとてもよい取組です。

6年生9名が選んだ今年の四字熟語は、「気炎万丈」「笑門来福」「有言実行」「精神一到」「初志貫徹」「切磋琢磨」「行雲流水」「一石二鳥」「日進月歩」と、その思いは様々です。

子供たちが書いた字は、20日まで廊下等に掲示しますので、ぜひご覧いただければ幸いです。



左から2年生、4年生、6年生の学びの様子

一番右の写真は、完成した作品を誇らしげに掲げる6年生

子育てアラカルト①⑥ ～「ひとり」を恐れない～

過日、校内の児童の様子を情報交換したときに、「友達といつも一緒にないと不安そうにしている子」について報告がありました。本校は、在籍人数が少なく、仲間と協力して活動しないと機能しないという場面が多々あります。そのため、改めて考えてみると、「ひとり」でいる時間がなかなか確保できていないのが現状です。本来ならば、「ひとり」で本を読んでいてもよいし、折り紙を折っていてもよいはずですが、しかしながら大人（教職員）は、「ひとり」でいると、「仲間外れにされているのかも…」とついつい勘ぐってしまいがちです。ここに学校という閉鎖空間の落とし穴があるのかもしれないと感じました。

集団活動の中では、常に折り合いをつけるべく、駆け引きをしていくなかで、納得していくことが多くあります。しかし、常にそのようなことばかりでは疲れます。そんなときに、ホッと「ひとり」になる時間があれば、子供たちはリフレッシュできるのではないかと考えます。

「ひとり」は、孤独感や疎外感がみえる、いわゆる「独り」はさびしさにつながりますが、数的な意味あいの「一人」はもっと尊重されてよいと思います。それこそ、仲間（集団）は大切ですが、表面的な弱いつながりの仲間は、成長を妨げることにともなうと本で読んだことがあります。ぜひ、「ひとり」を恐れない子供たちにしたいものです。今後、本校の環境だからこそ、試行的に一人になれる時間を設定してみようかと考えています。これにより、新たな子供たちの姿（強さ）を見つけれられるかもしれません。

USAとのリモートコミュニケーション まずは6年生がチャレンジ！【令和4年12月21日】

本校のグランドデザインに、「外国語教育の推進」という記載があります。3・4年生の外国語活動、5・6年の外国語の授業はもちろん、これまでの全校 Eタイムの取組に加え、校舎内の掲示物の作成や給食時の英語にかかる放送も行っています。

過日、町教育委員会の支援によりインテリジェントビデオバー(写真の囲みのもの)を配置していただいたので、早速、以前から構想があった外国とのリモート・コミュニケーションで活用しました。相手は、箱根町勤務時に友人になった Ryota 先生です。6年生は、緊張しながらもやりとりにチャレンジしました。

外国語教育の課題は、アウトプット能力の向上ととらえ、今後も学年を広げて実施していく予定です。



観点別診断テストを実施 【令和5年1月17日予定】

例年実施している観点別診断テストですが、今年は1月17日に行います。教員は、日々の授業改善に取り組んでいるところですが、授業がどんなに充実していても、子供たちに資質・能力の確実な習得等が実現していないければ意味を成しません。

よって、定量的に習得状況等を図ることを目的として実施いたします。結果につきましては、2月に保護者へお伝えできるようにいたします。

学校公開を実施します 【令和5年1月20日予定】

コロナウイルスの収束がなかなか見えず、第8波はこれまで以上に本校に影響を及ぼしています。

そのような中ですが、子供たちの学びの様子を見ていただきたいと考え、今月20日の学校公開は予定どおり実施します。詳細については、すでにお知らせしているところですが、ほぼ終えた校舎改修の状況もご覧いただければ幸いです。

なお、当日には第3回家庭教育学級として情報モラルの研修の場を設けます。

「地域のシンボルとなる学校を」めざして～ありがとう集会～【令和4年12月20日】

冬休みに入る直前の20日に、日頃からお世話になっているボランティア等の皆さんをお招きし、ありがとう集会を開催しました。当日は、ご多用のところ16名の方々がお越しくださり、子供たちは思い思いの言葉をお伝えすることができ、今回も心温まる会となりました。加えて、学習発表会では演奏できなかった1～3年生及び4～6年生の合奏も披露することができました。とても素敵な演奏でした。

さて、本校の「めざす学校像」は、「地域のシンボルとなる」と示されています。地域の方々からの本校に対する数々の愛情をしっかりと受け止め、改めて存在意義を確認していきたいと思います。

なお、今回は諸事情によりご参加いただけなかった方々にも、心から感謝申し上げます。今後も本校の教育のためにお力をお貸しくさいますようお願いいたします。

また、現在、次年度の行事のあり方を検討中です。児童数が少なくなってきたことで、最高学年である6年生への負担が大きくなってくることが想定され、再編をしているところです。

ありがとう集会については、開催時期を近くする学習発表会とコラボレーションできないか模索しています。まずは、「ありがとう」の気持ちを素直に表現できる児童を引き続き育てます。



町社会福祉協議会との連携事業を通して ～車いすバスケットボール体験～

今年の4年生は、福祉学習を机上ではなく積極的に外部機関と連携して、体験活動を重視しています。特に、大井町社会福祉協議会の方々の協力を得て、数々の新たな発見をしており、私もたくさんの報告をもらっています。そのような中で、車いすバスケットボール体験の機会をいただき、せっかくのお話なので12月19日に全校で実施することとしました。

講師は、湘南スポーツクラブの方々と、特別な車いすを自由に操り、バスケットボールを心から楽しんでいるなという様子でした。もちろん体験なので、子供たちも特別な車いすを使わせていただき、見様見真似で積極的に活動していました。今後役立つ、貴重な経験ができました。

